



# 桐生JCニュース

## 7月第一例会 きりゅう映画祭2013

Vol. 6  
制作 総務委員会

地域の宝の発信を目的とし、短編映画の祭典として本年度で3回目を数える「きりゅう映画祭」は、7月5日(金)と6日(土)の2日間で開催されました。5日(金)には、今年新設された「きりゅうアワード2013」を、桐生市市民文化会館スカイホールで開催しました。全国から公募した77本もの応募作品から、委員会による厳正な協議と審査の末に7本にまで絞られたノミネート作品。それらが、250席全て満員御礼という大盛況の中にて放映されました。オレオレ詐欺を題材にした内容の「もしもし詐欺ですけど」(後藤庸介監督) 日常の下校途中の児童が、空き地で夢の世界を創り出すアニメ「あきちあそび」(大城良輔監督)、深夜のバッティングセンターでひたすら空振りをするところから人々の心に火をつける「フルスイング」(斎藤雄基監督)、過去に交際していた男女が互いに依存しあう人間関係を描く「マイ・ツイート・メモリー」(松本卓也監督)、大学の映画制作サークルの日常をコミカルに描いた「ネオ桃太郎」(小田学監督) 忘れかけた遠い昔をたどる婆ちゃんと、大きな金魚玉ちゃんの過去の記憶を尋ねるアニメ「婆ちゃんの金魚」(岩瀬夏緒里監督)、SNSを被写体にワンルームで起こる沈黙のミステリードラマ



「12/09/03」(酒巻大樹監督)。以上7本が、余すところなく放映された後、犬童一心監督の講演が行われ、投票用紙を片手に全ての席を埋めた来場者からは、どれも素晴らしい内容の7作品から、1作品に投票するために、頭を抱えている多くの姿が見受けられました。一夜明けて6日(土)は、同文化会館シルクホールにて開幕しました。前日に開催した「きりゅうアワード2013」のグランプリの発表と、今年桐生市とみどり市で撮影された「男爵花嫁」「ある夜」の2作品を上映しました。当日は天候にも恵まれ、700人余りが来場し、午前11時、会場入口前広場には地域の名物が味わえる「飲食ブース」がオープンし、お昼時を迎えて沢山の来場者で賑わいました。そして14時、いよいよ「きりゅう映画祭2013」がスタート。犬童一心監督を審査委員長にお迎えし、「グランプリ」並びに「観客賞」の発表を行いました。前日の上映で観客の投票が最も多かった「観客賞」には、「もしもし詐欺ですけど」が選ばれ、そして初代グランプリには、「フルスイング」が輝きました。授賞式後、今年制作の2作品が上映され、上映後には「男爵花嫁」の田嶋直子監督と、「ある夜」の深澤尚徳監督、そして犬童監督を交えてトークショーも行われ、盛況に閉幕しました。過去2回行われた「きりゅう映画祭」での上映作品から、世界中の多くの映画祭にノミネートされ、受賞作品も多数創出されました。来年以降もこの「きりゅう映画祭」を通じて、この桐生市及びみどり市を、国内のみならず世界の人々に発信し続けることが、われわれの責務であると考えます。

